

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

感謝！！

国立夜須高原青少年自然の家で5年生の自然教室を実施しました。

この学習に、8名のお母さん方と6名のお父さん方が参加してくださいました。子どもたちとの間に適度な距離を置き、最高の温かさをもって子どもたちを見守ってくださいました。

「この子たちは愛されている」

しみじみと感じました。

自分の大切な時間を割いて、子どもたちに関わってくださる方々がいらっしゃるの

です。子どもたちや私たちは、どれほど励まされたことか。感謝の言葉もありません。

ところが、この日参加してくださったお父さん方が、帰りがけにこう言われました。

「今日の体験はお金を出しても買うことができません。ありがとうございました。」



子どもたちの誓い

5年生は、自然教室の初日の夜、暗闇の中で一人一人がキャンドルを灯し、この炎に誓いを立てました。

「人との出会いを大切にすること」

「友達の心を大切にすること」

「互いに助け合うこと」

「何事にも挑戦し続けること」

暗やみに揺らぐ炎を見つめながら聞く子どもたちの言葉は美しい。そして、誓う子どもたちの顔が頼もしかった。

私たちは、長い長い歴史のトンネルの先頭に立っています。これから先、この歴史のトンネルをどちらの方向に掘り進めるかは、私たちに、そして、この子どもたちにかかっています。

子どもたちがこの誓いを胸に歩み続けるなら、歴史のトンネルの進む先は明るい。



生涯役立つ言葉

「行動は、サッサと笑顔で」

「5分前行動」

「挨拶」

5年生の自然教室の中で聞かれた言葉です。この言葉に特別の解説は必要ないと思います。

お父さん、お母さん、いかがですか。大人社会で生活されているみなさんはよく分かれるはず。仲間に信頼され、愛される生き方を創る言葉です。全ての子どもの心に刻みたい。

しかし、大切な言葉ほど実践するのが難しいものですね。

オクラホマミキサー

自然教室の話が続きます。

キャンドルの炎に誓いを立てた後は、おやじの会のみなさんと学校から応援に駆けつけてくれた先生たちを交えてのフォークダンス。

マイムマイムに続き、次はオクラホマミキサー。男女が肩越しに手をつないで踊る、何となく昭和のにおいがするフォークダンスです。女子が少なかったのか、私は女子の列に並ぶことになりました。

曲が流れ始めました。みな和気あいあいと踊り始めました。気がつくと、私の隣に教頭先生。教頭先生から肩越しに手を握られたとき、私の心臓がポンと1つ跳ねた・・・いや、そんなことはありません！

